

## 情報モラル教室及び学年懇談会挨拶

令和2年2月19日（水）

昨年実施した本校生徒へのアンケート調査の結果では、およそ3割の生徒が「平日学校以外では読書をしない」、およそ4割の生徒が「読書は嫌い」、およそ8割の生徒は「新聞を全く読まない」と答えています。一方、「平日家でゲームをする時間、メールやインターネットをする時間」は平均で約2時間、「ゲームやスマホ等の使用に際して、家の人と約束を決めていない」生徒は約5割にのびります。

電車やバスに乗れば、大人も子供もスマホに見入っている。子供のうちからスマホとゲーム漬けになり、降り注ぐような情報にさらされ、万事を情報処理として受けとめる大人や子供から、読解力や想像力、ものの見方・考え方の広さや深さ、そして物事をじっくりと深く考える機会が奪われていくことに強い危機感を覚えます。本日の情報モラル教室が、デジタル社会の影が生み出す課題を解決するための一助となることを願っております。

結びに、情報モラル教室の後に開かれます学年懇談会では、生徒の実態に基づき、今年度の学校経営・運営の成果と課題、次年度への見通しが保護者のみなさんと共有され、次年度以降の生徒数、教職員数の激減という難局を乗り越えることができるような話し合いとなりますようにご支援をよろしく願いいたします。